

## 平成3年度事業報告書

### 1 事業の状況

1990年度の当協議会の事業は、社団法人申請時の事業計画が7月11日の第一回通常総会で承認されたのち、本格的な活動に入りました。

#### 1. 初年度計画の実施

初年度に実施予定の諸計画については、耳慣れない「メセナ」の知名度を高めることと、「企業メセナ」の考え方を企業や一般社会に広く理解、認識していただくことに重点をおき、機関誌『メセナ』の季刊発行、メセナ月間開催をはじめとして、定例会、企業のメセナ活動を考えるセミナー（文化戦略セミナー改め）、アート・マネジメント講座など啓蒙・普及活動を中心に実施いたしました。「メセナ」の知名度については、各種用語辞典に記載されるなど、1990年のキーワードの一つとなり、社会に認知されるに至ったと判断できます。また、1991年春から、慶応大学をはじめとして急速に盛り上がったアート・マネジメント講座開設の気運に少なからず貢献したといえます。しかし、「企業メセナ」の考え方については、知名度のアップに比例して浸透したとは必ずしも言えず、むしろ今後の課題として強力に進めることが必要と考えます。

#### 2. 2年度以降実施事業計画の着手

1991年度以降に実施予定の『メセナ白書』、メセナ大賞についても、具体化の作業に入りました。1990年の企業のメセナ活動を集大成する『メセナ白書』は6月に発行すべく、1990年12月に調査表を2500社の企業に発送し、351社から回答を頂きました。また、社会的、文化的に貢献したメセナを実施した企業を顕彰するメセナ大賞は1991年12月に授与式を行うことになり、対象活動の応募（自、他薦）を開始しております。白書、大賞とも3月25日にその概要を記者発表しましたが、マスコミに取り上げられその反響は大きく、問い合わせなどが数多くきております。

#### 3. 新たな状況への対応

協議会発足時の予想をはるかに上回るアーティストや文化団体からの助成要請の相談、企業の文化への関心の高まりといった新たな状況に対応するため、より積極的な仲介事業の進め方について検討に入る一方、設立一周年記念大会の開催や会員向けセミナーを一般に開放するなど一般企業への啓蒙を行いました。

#### 4. 国際交流を積極的に推進

わが国に初めて企業による文化支援組織が誕生したことについては、欧米各国が注目し、アドミカルの10周年記念大会をはじめ、各国から国際会議の招聘を受け、協議会から代表を派遣しました。一方、アドミカルのリゴール会長、カ

セド事務局長、アブサのトゥィディ事務局長、BCAのジェドリカ事務局長を日本に招き欧米に於けるメセナについての講演会やシンポジウムを開催、企業メセナについての認識を深めました。また、カナダのモントリオール大学から招聘したF・コルベール教授によるアート・マネジメント講座はアート・マネジメントに関する現状と将来についての講義と討論を通じて、日本における同講座の必要性を関係者に認識させました。このような国際交流を通じてメセナに関する世界の動向を知り、日本の立場を認識することは、国際連帯の機運が強まるなかで有意義であったと考えます。

## 5. 事業推進体制の整備

上述の事業活動を推進するために、7月の理事会で理事長の下に3委員会の設置を決定し、その下部組織として、5つの専門部会と4プロジェクトが8月から活動を開始しました。

- ①計画部会 協議会の長期計画案を策定する部会です。当面は設立1周年記念大会とメセナ月間、海外視察団派遣の計画立案推進を担当し、大会は3月25日に実施いたしました。
- ②税制部会 メセナ活動に関する税制上の優遇措置を政府に求める案を立案する部会です。経団連その他の各団体がこれまで提案した内容や官庁の取り組み方などを調査し協議会としての案を検討しております。
- ③調査部会 企業とメセナに関する調査研究をする部会です。当面は1991年6月に刊行する『メセナ白書』の作成を担当し、予定どおり進行しております。
- ④助成部会 アーティストや文化団体からの数多い助成要請に対応する仲介事業として、『メセナ』誌に助成要請情報を掲載するだけでは不十分です。より積極的な仲介の方法を検討しております。
- ⑤大賞部会 メセナ大賞を具体化する部会です。メセナ大賞の応募要領を作成し、すでに募集に入っております。1991年12月の授賞式にむけて具体的な選考作業に入っております。

このほか、『メセナ』誌、企業のメセナ活動を考えるセミナー、アート・マネジメント講座、『世界のメセナ』の4つのプロジェクトがそれぞれ活動しております。

以上の5専門部会と4プロジェクトは会員企業でメンバーを編成しております。理事企業をはじめとして40社を超える企業に参加いただき1990年8月から1991年3月までに約80回の会合がもたれ、終始熱心に事業の具体化を推進いただきました。1990年度の事業概要をご報告いたしますとともに、関係各位に厚くお礼申しあげます。個別の事業実績については以下にご報告いたします。

## [1] 啓蒙・普及事業

### 1. 定例会

- ① 8月29日 スパイラルホール 参加者75名  
テーマ「新しい文化事業を模索するー(株)ワコールのケース」  
講師 スパイラル館長 藤澤哲二氏
- ② 10月3日 藤沢市湘南台文化センター 55名  
テーマ「市民シアター見学会」  
講師 文化センター長 高岡金男氏  
演出家 太田省吾氏
- ③ 2月27日 日生劇場 80名  
テーマ「コーラス・ライン鑑賞の夕」  
講師 劇団四季専務取締役 大島秀夫氏  
「劇団の現状と問題点」

### 2. 企業のメセナ活動を考えるセミナー

- ① 12月5日 日仏会館 346名  
名称 企業のメセナ活動を考える会  
テーマ「企業のフィランソロピー活動とニューヨーク・パブリック・ライブラリ」  
講師 ニューヨーク・パブリック・ライブラリ館長 ヒーリー博士  
テーマ「企業の文化戦略ーC I からC A へ」  
講師 美術評論家 室伏哲郎氏
- ② 3月6日 電力中央研究所 19名  
テーマ「企業の社会的責任と企業メセナ」  
講師 電力中央研究所社会環境研究室長 若谷佳史氏  
主査研究員 山中芳朗氏

### 3. アート・マネジメント講座

#### 第1回アート・マネジメント日本特別講座「芸術と経営」

講師 モントリオール大学付属高等商科学院 F・コルベール教授

- ① 3月13日 資生堂別館会議室 132名  
講演「芸術経営の研究と教育ーその現状と背景」  
報告と討論1 「日本型アート・マネジメントについて」  
報告者 俳優座劇場代表取締役 倉林誠一郎氏  
日本演奏連盟理事 草刈 津三氏  
セゾン美術館学芸部長 難波 英夫氏  
司会 根本長兵衛専務理事

- ② 3月14日 資生堂別館会議室 109名  
 講演「芸術経営教育の実際と未来」  
 報告と討論2 「欧米での芸術経営教育の体験と慶応大学の場合」  
 報告者 慶応大学助教授 前田富士男氏  
 パナソニックグローブ座稲葉麻里子氏  
 美術館運営管理 岩淵 潤子氏  
 司会 根本長兵衛専務理事
- ③ 3月18日 京都商工会議所 47名  
 講演「芸術経営学の現状ーカリキュラム・就職状況」  
 報告と討論3 「日本型アート・マネジメントの現状とその必要性をどう考えるか」  
 報告者 劇団ふるさときゃらばん代表 大内義信氏  
 美術評論家 南条 史生氏  
 大阪フィルハーモニー交響楽団事務局次長小林義明氏  
 司会 関東学院女子短期大学助教授 小林 進氏

#### 4. メセナ月間

実施時期 1990年6月~7月  
 参加企業 11社

- ① 連続シンポジウム開催 司会 伊藤裕夫氏 電通総研
- i 6月14日 国際文化会館講堂 118名  
 テーマ「わが国に於ける芸術文化振興政策の現状と課題」  
 パネラー 文化庁文化部長 糟谷正彦氏  
 水戸芸術振興事務局長 横須賀徹氏  
 アートネットワーク代表 市村作知雄氏  
 関東学院女子短期大学助教授 小林 進氏
- ii 6月18日 電通総研ホール 120名  
 テーマ「企業の芸術文化助成の今日と明日」  
 パネラー 電通フランス サンダ・ニテスコ氏  
 音楽社会学研究者 木村篤子氏  
 トヨタ財団研究助成部門 山岡義典氏  
 ぴあ総合研究所 山名尚志氏  
 演劇ジャーナリスト 米屋尚子氏
- iii 6月27日 スタジオ200 112名  
 テーマ「芸術文化の現状と自立への道」  
 パネラー 芸団協芸能文化振興部長 大和 滋氏

プロデューサー 中根公夫氏  
美術ジャーナリスト 村田 真氏  
(株)ニッセイ基礎研究所吉本光宏氏

- ② 企業メセナ展 6月11日~21日 電通ギャラリー 1830名  
共催(主催 電通)

## 5. 事業共催

企業メセナ展 (前出)

芸術振興協会主催「A P A フォーラム」

1月25日 国際文化会館 テーマ「企業メセナの現状」

3月8日 " 「芸術助成を考える」

## 6. 設立記念セミナー

- ① 企業メセナ協議会設立記念・国際文化セミナー

1990年3月19日 経団連会館 316名

テーマ「企業の文化支援—現在と未来」

講師 仏アドミカル会長 ジャック・リゴー氏

英アブサ事務局長 コリン・トウィディ氏

大阪大学教授 山崎正和氏

- ② 企業メセナ協議会設立1周年記念大会・国際シンポジウム

i 1991年3月25日 経団連会館 340名

テーマ「企業の文化的役割—その新しい方向」

講師 米BCA事務局長 ジュディス・A・ジェドリカ氏

仏アドミカル事務局長 ジャン・イヴ・カセド氏

パネルディスカッション「日本型メセナを求めて」

パネリスト 文化側 大岡信氏、如月小春氏、武満徹氏

企業側 佐治敬三副会長、堤清二副会長

コーディネーター 根本長兵衛専務理事

特別公演 山海塾 (舞踏)

ii 1991年3月28日 大阪アメリカン・センター 105名

テーマ「企業の文化的役割—その新しい方向」

講師 ジェドリカ事務局長、カセド事務局長、

司会 柴田俊治理事

## [2] 情報集配・仲介事業

### 1. 『メセナ』誌の発行

1号(6月)、2号(9月)、3号(12月)、4号(3月)に発行。

部数3000部 A4版 32頁

2. 助成要請情報掲載数 計 99件

[3] 国際交流事業

1. 派遣

- ① フランス「アドミカル」10周年大会 6月5日 パリ  
テーマ「創造－自由－金銭」  
出席者 福原理事長、根本専務理事
- ② アメリカ「BCA」国際会議 7月18、19日 ニューヨーク  
テーマ「グローバル時代に於けるネットワークづくり」  
出席者 野呂事務局員
- ③ ギリシャ「オメポ」国際会議 9月27、28日 アテネ  
テーマ「企業、芸術文化、社会」  
出席者 鈴木会長、柴田理事、根本専務理事、  
池田幹事、岡田幹事
- ④ イギリス「ABSΛ」授与式 12月17日 ロンドン  
ヨーロッパメセナ委員会準備委員会 12月18日 ロンドン  
出席者 高井事務局次長

2. 受入

- ① ジャック・リゴー氏 1990年3月17日～21日 (朝日新聞社招聘)
- ② コリン・トウィディ氏 1990年3月17日～22日 (文化庁招聘)
- ③ フランソワ・コルベール氏 1991年3月12日～23日 (国際交流基金招聘)
- ④ ジュディス・A・ジェドリカ氏 1991年3月23日～29日 ( " 協力)
- ⑤ ジャン・イブ・カセド氏 1991年3月23日～31日 (文化庁招聘)

以上

## II 処務の概要

### 1. 役員に関する事項

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	略歴
理事	鈴木 治雄	平成2年2月14日	会 長		昭和電工協会長
	佐治 敬三		副会長		サントリー会長
	塚本 幸一		〃		リコー会長
	堤 清二		〃		ゼンコーボレーション会長
	西尾 信一		〃		第一生命会長
	福原 義春		理事長		資生堂社長
	天谷 直弘				電通総研所長
	石川 六郎				鹿島建設会長
	稲盛 和夫				京セラ会長
	大賀 典雄				ソニー社長
	永井 道雄				国際文化館理事長
	中江 利忠				朝日新聞社社長
	平岩 外四				東京電力会長
	松沢 卓二				富士銀行相談役
監事	根本長兵衛	平成2年7月11日	専務理事	58円 (月額)	共立女子大教授
	中村 一郎			第一勧銀会長	
理事	吉野 照蔵	平成3年3月25日			清水建設会長
	椎名 武雄			日アイピーコム社長	
	柴田 俊治			朝日放送専務	
	関本 忠弘			日本電気社長	
	竹中 統一			竹中工務店社長	
	豊田章一郎			トヨタ自動車社長	
	三沢千代治			ミツホム社長	
	後藤 康男			安田火災社社長	
関沢 義		富士通社長			
松橋 功		日本通商社社長			
	山口 開生				日本電産会長

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当事務	手当(月額)
事務局次長	高井 光子	平成2年2月14日	会計・事業	40万円
〃	岩瀬 慶孝	2年4月 9日	総務・事業	無
	野呂 健男	2年2月14日	事業	15万円

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成2年7月11日	1. 理事候補者の承認の件	可決
	2. 1990年度事業計画及び収支予算案の件	可決
	3. 顧問及び評議員規定案の件	可決
	4. 役員報酬の件	可決
	5. 新入会員の承認の件	可決
	6. 基本財産に関する件	可決
	7. 協議会の運営に関する件	可決
平成2年12月14日	1. 理事候補者の承認の件	可決
	2. 1990年度上半期事業及び収支報告の件	可決
	3. 新入会員の承認の件	可決
平成3年3月25日	1. 理事候補者の承認の件	可決
	2. 1991年度事業計画並びに収支予算案の件	可決
	3. 新入会員の承認の件	可決

(2) 総会

開会年月日	議事事項	会議の結果
平成2年7月11日	1. 経過報告	承認
	2. 理事選任の件	可決
	3. 1990年度事業計画及び収支予算案の件	可決
	4. 顧問及び評議員に関する事項の件	可決
平成3年3月25日	1. 理事選任の件	可決
	2. 1991年度事業計画並びに収支予算案の件	可決

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

5. 寄付金に関する事項

該当なし



6. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
平成2年4月16日	東京都中央区 築地5-3-2 株式会社朝日新聞社東京本社	有楽町マリオン 13階事務室(15,74坪) に関する賃貸借契約

7. 主務官庁指示に関する事項

該当なし